

大阪支部・各自治体へ海運・船員の政策諸課題に関する申し入れ

大阪府・大阪市・滋賀県・京都府・舞鶴市・福井県・敦賀市・和歌山県白浜町

大阪支部は1月～3月までの間、管轄の各地方自治体へ、海運・船員の政策諸課題に関する申し入れを行い、喫緊の課題である船員職業の後継者の確保・育成のため、船員職業の重要性を理解していただいた。

申し入れ先は、大阪府、大阪市、滋賀県、滋賀県議会、京都府、舞鶴市、舞鶴市議会、福井県、敦賀市、敦賀市議会、和歌山県白浜町、白浜町議会。

申し入れは小林泰之大阪支部長と執行部に、森健輔新日本海フェリー職場委員と畑中智尋琵琶湖汽船職場委員が同行した。

各申し入れでは、小林泰之大阪支部長から、申し入れ文書を手交した。主な申し入れの内容は▽船員の確保・育成の促進▽海に親しむ活動▽船員税制▽フェリー・旅客船の維持・存続への支援▽カボタージュ規制の堅持一などで、詳細に説明して理解を求めた。

各自治体の対応

大阪府・大阪市

海に親しむ活動として、事業者などと連携して2025年度より大阪港見学会を開催し、大阪市内の小学5年生6校を対象にコンテナターミナルや倉庫の見学、船・船員に関するパンフレットを配布した。また、泉大津港では、堺市内の小学生を対象にフェリーの船内見学会を実施した。今後も子どもたちが船や海に親しむイベントを継続したいとの考え方が示された。

滋賀県

海のない滋賀県では、子どもたちに船や船員の仕事を学んでもらうため、琵琶湖汽船株式会社の協力の下、学習船「うみのこ」を利用して、県内の小学5年生の児童を対象に1泊2日の体験航海を実施している。引き続きこの取り組みを継続することで、海（湖）や船に親しんでほしいと考えている。

滋賀県議会

「うみのこ」事業は滋賀県独自のもので、全国に誇れるものなので、しっかりと継続していきたい。また、滋賀県はチャレンジウィークという中学生の職場体験の取り組みがあり、琵琶湖汽船に協力していただいている。

「海員だより」